



校長室だより

第2号

平成25年10月25日発行

大隅東小学校長 豊田 雅弘

<http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/e651424>

あいさつ運動週間—気持ちよいあいさつで、心を通わせましょう—

瑞光中学校下では「元気よく 気持ちのこもった あいさつを」をキャッチコピーとして、町ぐるみで取り組まれています。課外中に道ですれ違っても、あいさつしてくれる小学生や中学生。気持ちのいいものです。

登下校時に子どもたちの安全確保のため、町の随所で見守っていただいております老人会を中心とした見守り隊のみなさま。子どもたちは元気にあいさつしていますでしょうか。

私も、登校時には玄関で子どもたちを出迎えています。元気よく「おはようございます」とあいさつを返してくれたら、朝からとても清々しい気持ちになれます。しかし残念なことに、なかなか声が出ない子もいるのが現実です。

そこで、学期に1回「あいさつ運動週間」を設け、児童会が中心となり気持ちよいあいさつができるよう呼びかけています。



なぜ、あいさつをするのでしょうか。なぜ、あいさつが大切なのでしょうか。あいさつ（挨拶）の意味について全校朝会でも話したことがあります。挨拶とは、人と人が心を開いて近づくことなのですね。1日の中であいさつを交わす機会は

何度もあります。家の中でも朝起きたら「おはようございます」食事の時には「いただき



ます」「ごちそうさまでした」夜寝るときには「おやすみなさい」などなど。地域の人や友だち、先生とも「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」その他にもまだまだありますね。「失礼します」「おじゃまします」などなど。あいさつで人と人の気持ちが通じたら、喧嘩などのトラブルはなくなります。

あいさつも含めて、人の心が温くなるような言葉を「ふわふわことば」、逆に相手を傷つけるような言葉を「ちくちくことば」といいます。そのことについては別の機会に詳しくお話したいと思います。

あいさつは、「あいさつ運動週間」だけ取り組むものではありません。継続していくことが大切です。ご家庭でも地域でも学校でも、気持ちよい挨拶が溢れる町を目指しましょう。それが、子ども同士の健全育成にとって最も重要なことだと考えます。

AEDの設置場所が変わりました

これまでエレベーターホールの前に置かれていましたが、センサー設置のため電源の近くに移動しなければならなくなりました。そこで、職員室前に移動させました。運動場からも分かりやすく使いやすいような場所。そして、保健室からも近く、エレベーターにも比較的近く、目が行き届きやすいなどいろいろな条件を鑑み、職員室前に移設しました。

AEDを使用することがないことに越したことはないのですが、万一の場合に備えてお知らせしますとともに、趣旨のご理解をお願いします。